

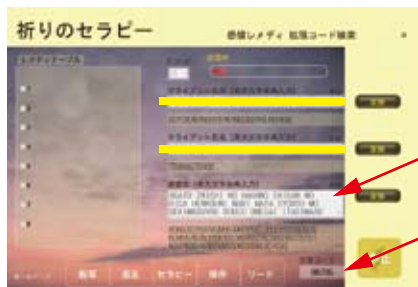
# 祈りのセラピーストーリー

お客様からプレバランスに寄せられた「祈りのセラピーストーリー」をご紹介します。

(※ご本人様の了解を得てご紹介させて頂いております。)

## ご相談内容

8月2日に母親と登山旅行を計画しておりましたが、母親が抱えている土地の裁判の日と重なってしまいました。出来れば、裁判の日が変更になり、そして勝訴もしたいと思っております。どうか守護天使に想いを伝えて頂けますようお願い致します。(20代 男性)



ご依頼を受け、下記の文章を入力し、祈りのセラピーを行いました。  
※祈りのセラピーの文章は、ローマ字入力で108文字以内となります。

8月2日の母の裁判の日が変更になり、また、勝訴もできますようどうぞお願い致します。

守護天使との交信を行った結果、交信コードに次の数字が出ました。

【1回目】86785 【2回目】12992 【3回目】88508

この数字は、守護天使からの「答え」を意味します。さて、一体、守護天使は何と言ってきているのでしょうか？



## 天使の答え 交信コードの具体的な意味をご説明致します。



- 1回目の交信コード：86785 → 単数に直すと「7：奇数」
- 2回目の交信コード：12992 → 単数に直すと「5：中立数」
- 3回目の交信コード：88508 → 単数に直すと「2：偶数」

まず、1回目に7「奇数（NO）」が出ましたので、この願いは難しいという回答です。しかし、なんとかお客様の願いを届けたいと思い、2度目の願いをしてみました。その結果、5の「中立数」が出ました。これは、もっと上の守護神に聞いてみるという意味ですので、3度目の願いをしたところ、88508という数字が出ました。この数字を単数にすると2「偶数：YES」という回答になります。この3回目の交信コードが、お客様が今後どうすれば良いのかを示しておりますので、その点をご説明いたします。

交信コード88508を合計しますと、29になります。これはカルマ数という数字です。29の意味は、「憎しみや怒りを愛で調和させるように」という意味があります。私たちの病気や悩みの多くは、前世から持ち越してきたカルマ（因縁）と考えられます。争いは、必ずそこに遺恨が残ります。負けた方は、「悔しい想いや、憎しみ」を持ち続けることでしょう。それが因縁となり、次の時代（来世）へそれらの感情が持ち越されてしまいます。今回のカルマ数は、その因縁を今生で断ち切るようにと言ってきております。

そして下二桁の08は行動数といいます。この数字の意味は「親切に、そして許しを持って行動すること」です。

また、上二桁の88は未来数といいます。この数字の意味は「無欲で強い憎しみを克服し友好が生まれる」です。私は裁判の内容はわかりませんが、裁判になった原因が「欲」的なものであるならば、無欲になることで「友好」が生まれると守護天使は言ってきています。つまり、今回のご依頼の「裁判への勝訴」ということに対して、勝敗よりも、過去世からの因縁によって起こっている「争いの因縁」を、許しや無欲になることで断ち切るようにというのが、天使からのメッセージです。

また、裁判の日程の変更にしましては、初回の交信コードが奇数のため「NO」でしたが、3回目に偶数となりましたので、お母様との旅行は行けるようになるのではないかと思います。それは、裁判の日程だけでなく、旅行の日程も変更となる可能性があるということです。

また、三桁目が5でしたので、今回のメッセージは、美と豊穡を司る「ラクシュミ神」から届きました。以上、リーディングは、プレバランスの紫波光太郎が行いました。

## お知らせ

「祈りのセラピー 天使からのメッセージを読み解く講座（8月27日開催）」は、ご好評につき満員となりました。

また、今回ご参加出来なかった方のために、9月にも開催することが決定しました。詳しくは別紙の講座のご案内をご覧ください。